

法律実務分科会

2013年度活動報告

Law and Practice (LAP)

04/2013-03/2014

今年度の活動

ロールプレイ・グループ討論を中心に行った

知的財産法

特許法等（技術系）

4月・7月

著作権法（コンテンツ系）

12月

契約・訴訟

訴訟・危機管理実務

5月・6月・9月WS

契約・交渉実務

10月・11月・1月・2月

活動報告①

4月	<p>生物由来製品と物を生産する方法の発明</p> <p>架空の生物由来製品に関する発明を題材に、物の発明と物を生産する方法の違いを学びながら、その違いが権利行使又は侵害警告を受けた際にどのように機能するかを、2チームに別れて議論する。</p>
5月	<p>侵害訴訟における技術説明会</p> <p>医薬品や種苗に係る侵害訴訟を題材に、法廷における技術的なバックグラウンドのない法律家（裁判官・弁護士）に対して行われる技術説明会の実態を通じ、技術プレゼンテーションのやり方を議論する。</p>
6月	<p>技術者・研究者のための訴訟入門</p> <p>そもそも「訴訟」とは、何のために何を議論し、どのような段取りで仕組みなのか、侵害訴訟に限定せずに、基本に立ち返える。</p>

活動報告②

7月	<p>研究活動のオープン化 ～ソーシャルメディアを活用した研究活動～ (若手研究者のための知的財産リテラシー分科会と共催)</p>
8月	<p>(Smips 開催なし)</p>
9月	<p>論理的思考力を鍛える ～犯罪捜査と証拠に学ぶ推理の組み立て方～ (Smipsワークショップ向けの特別企画)</p>

活動報告③

10月	<h2>ライセンス契約 for Beginners ～国内編</h2> <p>INPITが公開しているライセンス契約書のひな形をたたき台に、ライセンサー・ライセンシーの2チームに別れて、不足している条項や、記述が不十分な条項がないかを議論する。</p>
11月	<h2>ライセンス関係の「終わり」</h2> <p>ライセンサーの倒産や技術の陳腐化によるライセンスの必要性の消滅などにより、ライセンス関係が「終わり」を迎えるときに何が起こるのか、起こりうる危険に契約上どのように対処できるのかを議論する。</p>
12月	<h2>著作物のライセンス</h2> <p>日頃議論している特許等の工業所有権を離れ、ソフトウェア、電子書籍、映画などのエンターテインメント・コンテンツのライセンス契約の実態を議論し、著作権法の基本的な考え方を学ぶ。</p>

活動報告④

1月	<p style="text-align: center;">契約の交渉（基礎編）</p> <p>ライセンス契約の交渉のロールプレーを通じ、日本・欧米・東南アジアの交渉文化の違いや、組織内における各部署の交渉における役割や、交渉ステージごとに議論し、書面に残すべき事項を学ぶ。</p>
2月	<p style="text-align: center;">契約の交渉（実践編）</p> <p>ライセンス契約のドラフティングに関するディスカッションを通じ、ライセンス契約中のビジネス上で本質的な条項と本質的でない条項の認識を明確にししながら、交渉へ望む際の姿勢を議論する。</p>
3月	<p style="text-align: center;">研究成果の公表のコンプライアンス</p> <p>STAP細胞を巡る理化学研究所の報道対応を題材に、技術的な研究成果を一般に広く公表する場合のリスクを認識し、トラブル発生時の報道対応のためにどのような備えが必要かを議論する。</p>

次年度の活動方針

従来の知的財産法や訴訟・契約に加えて……

知的財産法以外
の法律分野

技術・資源移転に対する規制
(環境法・国際条約等)

新しいビジネスモデルへの規制
(参加者のリクエストに応じて……)

契約・訴訟以外
のアクション

ベンチャー等の新規事業の立ち上げ
(会社設立・資金調達等)

知的財産の流動化の手法
(金融商品・信託等の組成)